

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
原始	-7000(縄文時代)			
	-400(縄文時代)			
古墳・飛鳥時代	前1世紀(弥生時代)	・近畿まで稲作が北進する		
	3世紀(弥生時代)	・稲作の北進 本州北端(青森)まで		
	239(3世紀)	・邪馬台国卑弥呼[親魏倭王]の称号受ける		
	300(4世紀頃)			
	500(6世紀当初)			
	645(大化元年)	・大化の改新		
	646(大化2年)	・班田収授の法を制定 ・公地公民制を宣言 ・租・庸・調を定める		
	694(持統8年)	・藤原京に遷都		
	701(大宝元年)	・大宝律令		
	702(大宝2年)			
奈良時代	710(和銅3年)	・平城京に遷都		
	722(養老6年)	・墾田100万町歩の開墾を計画する	・尾張の民を出羽に移す	
	723(養老7年)	・墾田の開発をすすめ、用益の年限をきめる(三世一身法)		
	741(天平13年)			
	743(天平15年)	・墾田を私財とする事を許す(墾田永世私有令)		
	746(天平18年)			
	757(天平宝字元年)			
	765(天平神護元年)	・寺院以外の墾田開発を禁止		
	784(延暦3年)	・長岡京に遷都		
	794(延暦13年)	・平安京に遷都		
	821(弘仁12年)	・空海、満濃池を作る		
	902(延喜2年)	・延喜の荘園整理令		
	927(延長5年)	・『延喜式』完成		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
平安時代	940(天慶3年)		・平将門の乱により、尾張・三河から援兵	
	平安時代	・平安中期の耕地面積862,767町		・三河国:耕地6,820町、尾張国:耕地6,820町、耕地計13,640町
	1017(寛仁元年)	・藤原道長が太政大臣となる		
	1045(寛徳2年)	・寛徳の荘園整理令		
	1062(康平5年)	・前九年の役平定(安部氏亡ぶ)		
	1069(延久元年)	・延久の荘園整理令		
	1086(応徳3年)	・白河上皇、院政を始める		
	1087(寛治元年)	・後三年の役平定		
	1156(保元元年)	・保元の乱		
	1159(平治元年)	・平治の乱		
1167(仁安2年)	・平清盛、太政大臣となる			
鎌倉時代	1183(寿永2年)			
	1185(文治元年)	・守護、地頭を設置		
	1192(建久3年)	・源頼朝、征夷大將軍となる		
	1221(承久3年)	・承久の乱		
	1232(貞永元年)	・北条泰時、関東御成敗式目(貞永式目)制定		
	1274(文永11年)	・文永の役[蒙古襲来]		
	1281(弘安4年)	・弘安の役[蒙古襲来]		
	1297(永仁5年)	・永仁の徳政令発布		
	1333(元弘3年)	・鎌倉幕府滅亡		
	1334(建武元年)	・建武の中興		
	1336(建武3年)	・後醍醐天皇、吉野に移る(南北朝分裂)		
	1338(延元3年)	・足利尊氏、征夷大將軍となる		
	1339(延元4年)			・響庭(幡豆郡)*5
	1340(興国1年)			・友國(幡豆郡、250石)*5
	1341(興国2年)			・南乙川(幡豆郡)*5
	1342(興国3年)			・津平(幡豆郡)*5
	1343(興国4年)			・中野・酒井(幡豆郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
室町時代	1368(応安元年)	・足利義満、征夷大將軍となる		
	1392(明德3年)	・南北朝の合一		
	1394(応永1年)			・応永年間:高見用水(東春日井郡、200余町)*5
	1428(正長元年)	・正長の土一揆		
	1460(寛正1年)			・寛正年間:吉田(幡豆郡)*5
	1464(寛正5年)			・富田(幡豆郡)*5
	1467(応仁元年)	・応仁の乱起こる		
	1488(長享2年)	・加賀一向一揆		
	室町時代	・室町期の耕地面積854,791町		・三河国:耕地7,055町、尾張国:耕地10,006町、耕地計17,061町
	1506(永正3年)			
1528(享禄1年)			・大永8年:勅使池築造と伝える(愛知郡)*5 ・享禄年間:上横須賀・青木(幡豆郡)*5	
1543(天文12年)	・種子島に鉄砲伝来			
1555(弘治1年)		・織田信長、清須城に入る		
1558(永禄1年)			・永禄年間:宇ノ津(幡豆郡)*5	
1560(永禄3年)		・桶狭間の戦い、織田信長、今川義元を倒す		
1564(永禄7年)			・白浜新田(幡豆郡)*5	
1567(永禄10年)		・織田信長、美濃稲葉山城をおとし、本拠を岐阜に移す		
1570(元亀1年)		・徳川家康、遠江浜松へ移る		
1573(天正元年)	・室町幕府滅びる			
安土・桃山時代	1581(天正9年)		・長篠の戦い、織田・徳川連合軍、武田勝頼の軍を破る	
	1582(天正10年)	・本能寺の変 ・太閤検地始まる(~'98)		
	1585(天正13年)	・豊臣秀吉、関白となる		
	1588(天正16年)	・刀狩、封建的身分制、兵農分離		
	1590(天正18年)			
	1594(文禄3年)		・豊臣秀次、秀吉の監察下に尾張の復興対策として、築堤後事などを実施しはじめる	
	1596(慶長1年)			・慶長年間:養永島新田(中根新田)(幡豆郡)、高ヶ原(幡豆郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
時代	1597(慶長2年)			
	1598(慶長3年)			
	1599(慶長4年)			
	1600(慶長5年)	・関ヶ原の戦い		
	1601(慶長6年)		・木曾川御困堤完成	・下地町(宝飯郡)*5
	1602(慶長7年)			
	1603(慶長8年)	・徳川家康、征夷大將軍に任命され、江戸幕府を開く		
	1604(慶長9年)			
	1605(慶長10年)			
	1606(慶長11年)			
	1607(慶長12年)		・徳川義直、甲府から清須に転封し、「御三家」尾張徳川家が成立	
	1608(慶長13年)			・般若用水(宮田用水となった)*2
	1609(慶長14年)			
	1610(慶長15年)			
	1611(慶長16年)			
	1612(慶長17年)			
	1613(慶長18年)			
	1614(慶長19年)	・大阪冬の陣		
	1615(元和元年)	・大阪夏の陣 ・武家諸法度、禁中並公家諸法度を定める		
	1616(元和2年)			
	1617(元和3年)			
	1618(元和4年)			
	1619(元和5年)			
	1620(元和6年)			
	1621(元和7年)			
	1622(元和8年)			
	1623(元和9年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1624 (寛永元年)			・寛永年間: 郷ヶ原(南設楽郡)*5
	1625 (寛永2年)			
	1626 (寛永3年)			
	1627 (寛永4年)			
	1628 (寛永5年)			・入鹿池(丹羽郡)*5
	1629 (寛永6年)			
	1630 (寛永7年)			
	1631 (寛永8年)			・中島新田(愛知郡)*5
	1632 (寛永9年)		・入鹿六人衆江崎善左衛門らの出願による入鹿池築堤工事はじまる(翌年2月完成)	
	1633 (寛永10年)			
	1634 (寛永11年)			
	1635 (寛永12年)			
	1636 (寛永13年)			・平島新田(海部郡)、千郷村野田(南設楽郡)*5
	1637 (寛永14年)			
	1638 (寛永15年)			・中野内新田(愛知郡)、鵜多須新田(海部郡)*5
	1639 (寛永16年)	・鎖国令		・蟹江佐屋新田(海部郡)*5
	1640 (寛永17年)			・西福田新田・東福田新田(海部郡)*5
	1641 (寛永18年)			・中野外新田(愛知郡)*5
	1642 (寛永19年)			
	1643 (寛永20年)	・田畑永代売買禁止令		
	1644 (正保元年)			
	1645 (正保2年)			・沓掛新田(愛知郡)*5
	1646 (正保3年)			
	1647 (正保4年)			・熱田新田(名古屋市、干拓3842石)、竹田新田・亀ヶ地新田・上押萩新田・下押萩新田・馬ヶ地新田・子宝新田・東舘新田・西舘新田・鳥ヶ地新田、六條新田・坂中地新田・鮫ヶ地新田・小貝足新田・荷ノ上古川新田(海部郡)*5
	1648 (慶安元年)			・小田井草野新田(西春日井郡)*5 ・慶安年間: 高島(幡豆郡)*5
	1649 (慶安2年)	・地方五役5人組制度	・熱田新田完成	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1650(慶安3年)		・木曾川左岸丹羽郡木津村に枵を設置し、木津用水完成(古木津用水)	
	江戸時代前期			・名古屋藩62万石、岡崎藩5万石、吉田藩4万石、刈谷藩2万石、西尾藩2万石、中島藩2万石
	1651(慶安4年)			
	1652(承応元年)		・尾張藩家老竹腰正信は知行地のなかに新田を開発	
	1653(承応2年)	・幕府、玉川上水開削を許し、費用を与える		
	1654(承応3年)			
	1655(明暦元年)			・乙川新田(知多郡)*5
	1656(明暦2年)			
	1657(明暦3年)			
	1658(万治元年)			・万治年間:名古屋新田(名古屋市)*5
	1659(万治2年)			
	1660(万治3年)			
	1661(寛文元年)			・寛文年間:木津用水(丹羽郡)*5
	1662(寛文2年)			・落合新田(西春日井郡)*5
	1663(寛文3年)		・尾張藩の茶屋中島家、茶屋新田を開発、吉田宿本陣清須屋が清須新田を開発	
	1664(寛文4年)		・古木津用水を丹羽郡小口村で分流し、新木津用水完成	
	1665(寛文5年)			
	1666(寛文6年)	・山川掟の発令	・江戸町人伏見屋又兵衛が矢作川河口に新田開発を出願、竹腰三信、田原湾岸に石塚新田を開く	
	1667(寛文7年)			・平川新田(豊田市、70町)*5
	1668(寛文8年)			・利兵衛溜池(豊田市)*5
	1669(寛文9年)			
	1670(寛文10年)			・水神池(豊田市)*5
	1671(寛文11年)			
	1672(寛文12年)			・千郷村森高(南設楽郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1673 (延宝元年)			・向田新田(渥美郡、60町)*5
	1674 (延宝2年)	・分地制限法		
	1675 (延宝3年)			・船方新田(名古屋市)*5
	1676 (延宝4年)			
	1677 (延宝5年)			
	1678 (延宝6年)			
	1679 (延宝7年)		・尾張に島ヶ地前新田完成	・樺崎汐新田(干拓)*2
	1680 (延宝8年)			
	1681 (天和元年)			
	1682 (天和2年)			
	1683 (天和3年)			
	1684 (貞享元年)	・河村瑞賢、淀川下流の治水事業に着手(~'85)		
	1685 (貞享2年)			
	1686 (貞享3年)			
	1687 (貞享4年)	・田畑永代売買禁止を再令する		・北乙川(幡豆郡)*5
	1688 (元禄元年)			・元禄年間: 吉田新田・富好新田(幡豆郡)*5
	1689 (元禄2年)			・松原用水(宝飯郡)*5
	1690 (元禄3年)			・辰巳新田(起工以来70年目に竣工)*2
	1691 (元禄4年)			・千郷村開墾(南設楽郡、27町)*5
	1692 (元禄5年)			
	1693 (元禄6年)			
	1694 (元禄7年)			・半田新田(知多郡、35町)*5
	1695 (元禄8年)			
	1696 (元禄9年)	・宮崎安貞「農業全書」刊		・甚平衛新田(名古屋市)*5
	1697 (元禄10年)			
	1698 (元禄11元年)			
	1699 (元禄12年)			
	1700 (元禄13年)			
	1701 (元禄14年)		・「三河国郷帳」ができる、三河国高38万3000余石	

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1702(元禄15年)			
	1703(元禄16年)			
	1704(宝永元年)	・大和川の付替工事開始		
	1705(宝永2年)	・大和川旧河道新田開発		
	1706(宝永3年)			
	1707(宝永4年)	・富士山噴火、宝永山できる		
	1708(宝永5年)	・貝原益軒『大和本草』		
	1709(宝永6年)	・新井白石を登用する		
	1710(宝永7年)			
	1711(正徳元年)			
	1712(正徳2年)			
	1713(正徳3年)			
	1714(正徳4年)			
	1715(正徳5年)			
	1716(享保元年)	・徳川吉宗、第8代将軍となる		
	1717(享保2年)			
	1718(享保3年)			
	1719(享保4年)			
	1720(享保5年)			
	1721(享保6年)	・目安箱の設置		
	1722(享保7年)	・新田開発の奨励		
	1723(享保8年)			
	1724(享保9年)			
	1725(享保10年)			
	1726(享保11年)	・新田検地条目の制定		
	1727(享保12年)			
	1728(享保13年)			
	1729(享保14年)			
	1730(享保15年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
江戸時代	1731(享保16年)			
	1732(享保17年)	・山陽・南海・西海・畿内蝗害のため大飢饉		
	1733(享保18年)			
	1734(享保19年)			
	1735(享保20年)	・幕府、米価下落を防ぐため最低価格を決める		
	1736(元文元年)			・元文年間:万田新田(幡豆郡)*5
	1737(元文2年)			
	1738(元文3年)			
	1739(元文4年)			
	1740(元文5年)			・土古山新田(名古屋市)*5
	1741(寛保元年)			・浅山新田(知多郡)*5
	1742(寛保2年)			
	1743(寛保3年)			
	1744(延享元年)			
	1745(延享2年)			
	1746(延享3年)			
	1747(延享4年)			
	1748(寛延元年)			
	1749(寛延2年)	・定免制を全面的に施行		
	1750(寛延3年)			・甚平衛後新田(名古屋市)*5
江戸時代中頃	・江戸中期の耕地面積:田1,695,923町、畑1,417,074町、計3,013,546町		・三河国:田21,649町、畑19,613町、計41,262町 ・尾張国:田27,670町、畑18,349町、計46,019町 ・田計49,319町、畑37,962町、耕地計87,281町	
1751(宝暦元年)				
1752(宝暦2年)				
1753(宝暦3年)			・小中山新田(渥美郡、45町)*5	
1754(宝暦4年)				
1755(宝暦5年)	・木曾川の治水工事完成			
1756(宝暦6年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1757(宝暦7年)			
	1758(宝暦8年)			
	1759(宝暦9年)			
	1760(宝暦10年)			
	1761(宝暦11年)			
	1762(宝暦12年)			
	1763(宝暦13年)			・喜総治新田(西春日井郡)*5
	1764(明和元年)			
	1765(明和2年)			
	1766(明和3年)			
	1767(明和4年)			
	1768(明和5年)			
	1769(明和6年)			
	1770(明和7年)			
	1771(明和8年)			
	1772(安永元年)	・田沼意次、老中となる		
	1773(安永2年)			
	1774(安永3年)			
	1775(安永4年)			・滝谷池(豊田市)*5
	1776(安永5年)			
	1777(安永6年)			
	1778(安永7年)			
	1779(安永8年)			
	1780(安永9年)			
	1781(天明元年)			・天明年間: 殿様新田(渥美郡、40町)*5
	1782(天明2年)	・下総印旛沼干拓に着手 ・瀬戸内・九州など大凶荒		
	1783(天明3年)	・浅間山大噴火 ・冷害のため諸国大飢饉		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1784(天明4年)	・この春夏諸国飢饉、農民流亡のため農村荒廃	・日光川瀬違え普請はじまる	
	1785(天明5年)	・奥羽飢餓		・古屋新田(幡豆郡、36町)*5
	1786(天明6年)	・下総手賀沼開発に看手するも、間もなく中止 ・老中田沼意次失脚 ・諸国大凶作		
	1787(天明7年)	・松平定信、老中就任 ・寛政の改革が始まる	・庄内川の分水工事(新川)完成	・豊岡新田(幡豆郡)*5
	1788(天明8年)			
	1789(寛政元年)	・困米の制を定める		・上條用水(東春日井郡)*5
	1790(寛政2年)			
	1791(寛政3年)			
	1792(寛政4年)			
	1793(寛政5年)			
	1794(寛政6年)			
	1795(寛政7年)			
	1796(寛政8年)			
	1797(寛政9年)			
	1798(寛政10年)			
	1799(寛政11年)			
	1800(寛政12年)	・伊能忠敬、蝦夷地を測量する		
	1801(享和元年)			・熱田前新田(名古屋市、干拓349町)*5
	1802(享和2年)			
	1803(享和3年)			
	1804(文化元年)			・文化・文政年間:宝神新田(名古屋市)*5
	1805(文化2年)			
	1806(文化3年)			
	1807(文化4年)			
	1808(文化5年)			
	1809(文化6年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1810(文化7年)			
	1811(文化8年)			
	1812(文化9年)			
	1813(文化10年)			
	1814(文化11年)			
	1815(文化12年)			
	1816(文化13年)			
	1817(文化14年)	『農具便利論』		
	1818(文政元年)			
	1819(文政2年)			
	1820(文政3年)			・稲富新田(後の稲永新田)(名古屋市、62町)*5
	1821(文政4年)	・伊能忠敬、『大日本沿海実測地図』完成		
	1822(文政5年)			
	1823(文政6年)			・大蒲新田(西春日井郡、40町)*5
	1824(文政7年)			
	1825(文政8年)			・中新田(知多郡20町)*5
	1826(文政9年)			・永徳新田(後の稲永新田)(名古屋市、22町)*5
	1827(文政10年)		・都筑弥厚、加茂・碧海両郡一帯開拓のため、矢作川分水を計画出願	
	1828(文政11年)			
	1829(文政12年)			
	1830(天保元年)			
	1831(天保2年)	・諸国石高を調査する		
	1832(天保3年)			
	1833(天保4年)	・この冬、風水害により奥羽・関東飢饉		
	1834(天保5年)	・諸国飢饉	・田原藩、幕府の命令による渥美湾大海開拓の中止を願い、認められる	
	1835(天保6年)			

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1836(天保7年)	・諸国飢饉、奥羽地方最も甚だしく死者10万人に及ぶ		
	1837(天保8年)	・大塩平八郎の乱 ・この春、諸国飢饉、餓死多数		・作良新田(名古屋市、100町)*5
	1838(天保9年)			
	1839(天保10年)	・この年、奥羽飢饉、死者・流民多数		
	1840(天保11年)			
	1841(天保12年)	・天保改革はじまる	・加茂郡羽明村名主河合金右衛門、九久平・足助間の水路(巴川)開削を幕府に出願	
	1842(天保13年)			
	1843(天保14年)	・印旛沼開墾開始		・頭ヶ谷池(渥美郡)*5
	1844(弘化元年)	・印旛沼開墾中止		
	1845(弘化2年)			
	1846(弘化3年)			・千郷村石田(南設楽郡)*5
	1847(弘化4年)	・信州大地震(善光寺地震)		
	1848(嘉永元年)			
	1849(嘉永2年)			
	1850(嘉永3年)			
	1851(嘉永4年)			
	1852(嘉永5年)			
	1853(嘉永6年)	・ペリー浦賀来航		
	1854(安政元年)	・日米和親条約		
	1855(安政2年)	・江戸大地震(安政の大地震)	・大風雨により高潮、伊勢湾沿岸干拓新田の堤防91カ所破壊	
	1856(安政3年)			
	1857(安政4年)			
	1858(安政5年)	・日米修好通商条約		
	1859(安政6年)			
	1860(万延元年)	・桜田門外の変		・片寄(額田郡、10町)*5
	1861(文久元年)			
	1862(文久2年)			
	1863(文久3年)			・高島新田(幡豆郡)*5

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1864(元治元年)	・禁門の変、第1次長州征伐		・勅使池の修築(愛知郡、灌漑面積250町)*5
	1865(慶応元年)			
	1866(慶応2年)	・薩長同盟、第2次長州征伐		
	1867(慶応3年)	・大政奉還、王政復古宣言		
	1868(慶応4年)	・鳥羽・伏見の戦い(戊辰戦争起こる)		
	1868(明治元年)	・明治維新	・5.17 入鹿池堤決壊して、死者941人、浸水家屋1万1709戸、流没田畑8480町歩余	
	1869(明治2年)	・東京遷都 ・版籍奉還 ・開拓使設置		
	1870(明治3年)	・勸農局(翌年、開墾局に改称)を設ける		
	1871(明治4年)	・戸籍法を定める ・廃藩置県 ・田畑勝手作許可		
	1872(明治5年)	・田畑売買禁止の解除	・名古屋県を愛知県と改称	
	1873(明治6年)	・徴兵令・地租改正条例を公布 ・内務省設置		
	1874(明治7年)	・北海道屯田兵制度を設ける		
	1875(明治8年)			
	1876(明治9年)			・黒川運河閘門と庄内川取水堰、永徳新田*2
	1877(明治10年)	・地租軽減(地価の3%から2.5%に) ・西南戦争		
	1878(明治11年)			
	1879(明治12年)	・国営安積疏水猪苗代湖開墾事業に着工(~'82)		・明治用水路・水門、入鹿池(余水吐放水路を新掘削)、郷名池*2
	1880(明治13年)	・区町村会法制定施行	・明治用水竣工	
	1881(明治14年)	・農商務省設置 ・大日本農会創立		
	1882(明治15年)	・日本銀行開業		
	1883(明治16年)			・新木津用水路開削*2

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
明治時代	1884(明治17年)			・入鹿池(堤防増築)、大池*2
	1885(明治18年)	・太政官制を廃止(内閣制度を樹立)		
	1886(明治19年)			
	1887(明治20年)	・石川県石川郡上安原村で石川式区画整理を開始		
	1888(明治21年)	・市制及び町村制を公布		・牟呂用水取水堰・用水路*2
	1889(明治22年)	・大日本帝国憲法発布 ・東海道本線全通	・県内に大水害	
	1890(明治23年)	・水利組合条例・公有水面埋立法公布		
	1891(明治24年)	・濃尾大地震	・10.28 濃尾大地震	
	1892(明治25年)			
		・耕地面積、田2,805,212ha、畑2,307,956ha、計5,113,168ha		・田88,791ha、畑58,419ha、計147,210ha
	1893(明治26年)			・新池*2
	1894(明治27年)	・日清戦争(~'95)		
	1895(明治28年)			・神野新田*2
	1896(明治29年)	・河川法制定		
	1897(明治30年)	・砂防法・森林法を公布		
	1898(明治31年)			・入鹿池(伏樋位置変更改造)*2
	1899(明治32年)	・耕地整理法公布		
	1900(明治33年)			
	1901(明治34年)			
	1902(明治35年)	・日英同盟成立 ・北海道土巧組合法公布		
1903(明治36年)				
1904(明治37年)	・日露戦争(~'05)			
1905(明治38年)	・耕地整理法改正(灌漑排水の追加)			
1906(明治39年)				
1907(明治40年)	・耕地整理研究会(後の農業土木学会)発足		・蘇東組合用水路・取水水門*2	
1908(明治41年)				

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1909(明治42年)	・耕地整理法改正(開墾・地目変換を認め、耕地整理組合を法人化)		
	1910(明治43年)	・韓国併合		
	1911(明治44年)			
大正時代	1912(大正元年)			
	1913(大正2年)	・北海道大冷害		・中野原開田用水取水施設*2 ・平坂干拓*2
	1914(大正3年)	・第一次世界大戦勃発 ・耕地整理法改正(目的に埋立・干拓を追加)		
	1915(大正4年)			
	1916(大正5年)			
	1917(大正6年)	・米価高騰		
	1918(大正7年)	・富山県下で米騒動、以後1道3府32県に波及	・米騒動、県内各地に波及	
	1919(大正8年)	・都市計画法公布		
	1920(大正9年)	・第1回国勢調査実施(総人口7698万人、内地5596万人)		
	1921(大正10年)	・米穀法公布		
	1922(大正11年)			
	1923(大正12年)	・関東大震災		
	1924(大正13年)			・横須賀沿岸排水改良事業着工(～'26)
	1925(大正14年)	・普通選挙法(男子)公布		
1926(大正15年)	・自作農創設維持補助規則制定公布			
	1926(昭和元年)			
	1927(昭和2年)	・金融恐慌起こり、休業銀行続出 ・丹後地震		・汐川沿岸排水改良事業着工(～'28) ・広田川沿岸排水改良事業着工(～'32)
	1928(昭和3年)	・普通選挙による最初の衆議院議員総選挙		・戸田川沿岸排水改良事業着工(～'29)
	1929(昭和4年)	・世界的経済大恐慌 ・農業土木学会(後の農業農村工学会)創立		・奥村用水用水改良事業着工(～'33) ・油ヶ淵沿岸排水改良事業着工(～'35)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1930(昭和5年)	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和恐慌 ・農業恐慌、農村の危機深刻化する 		<ul style="list-style-type: none"> ・宮田用水(第1期)用水改良事業着工(～'38) ・日光川西排水改良事業着工(～'34)
	1931(昭和6年)	<ul style="list-style-type: none"> ・満州事変起こる ・北海道、東北に冷害、未曾有の大凶作 		<ul style="list-style-type: none"> ・蟹江大零沿岸排水改良事業着工(～'36) ・北浜排水改良事業着工(～'35)
	1932(昭和7年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1次上海事変 ・5.15事件 ・時局匡救耕地関係農業土木事業発足 		<ul style="list-style-type: none"> ・松原用水用水改良事業着工(～'35) ・五ヶ村川沿岸排水改良事業着工(～'34) ・福田川沿岸排水改良事業着工(～'37) ・安永川沿岸(第1期)排水改良事業着工(～'39)
	1933(昭和8年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連盟脱退 ・米穀統制法公布 ・三陸地震大津波 		<ul style="list-style-type: none"> ・勅使池用水改良事業着工(～'34) ・宮田用水(第2期)用水改良事業着工(～'37) ・幸田用水用水改良事業着工(～'43) ・占部用水用水改良事業着工(～'38) ・孫宝排水排水改良事業着工(第1期)(～'39) ・鹿乗川沿岸(第1期)排水改良事業着工(～'33)
	1934(昭和9年)	<ul style="list-style-type: none"> ・満州国帝政実施(皇帝溥儀) ・室戸台風 		<ul style="list-style-type: none"> ・明治用水(第3期)用水改良事業着工(～'45) ・鹿乗川沿岸(第2期)排水改良事業着工(～'35)
	1935(昭和10年)			
	1936(昭和11年)	<ul style="list-style-type: none"> ・2.26事件 		<ul style="list-style-type: none"> ・安永川沿岸排水改良事業着工(第2期)(～'39) ・安永川沿岸排水改良事業着工(第3期)(～'40) ・鹿乗川沿岸排水改良事業着工(第3期)(～'43) ・日比川下流沿岸排水改良事業着工(～'39)
	1937(昭和12年)	<ul style="list-style-type: none"> ・廬溝橋事件(日中戦争開始) 	<ul style="list-style-type: none"> ・トヨタ自動車工業設立 	<ul style="list-style-type: none"> ・高橋用水用水改良事業着工(～'41) ・前期枝下用水上流部用水改良事業着工(～'40) ・孫宝排水(第2期)排水改良事業着工(～'39)
	1938(昭和13年)	<ul style="list-style-type: none"> ・国家総動員法公布 ・農地調整法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・古川吉良用水用水改良事業着工(～'42) ・宮田用水第(4期)大江用水用水改良事業着工(～'46) ・家下川沿岸上流部排水改良事業着工(～'41)
	1939(昭和14年)	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次世界大戦はじまる 		<ul style="list-style-type: none"> ・前期枝下用水中流部用水改良事業着工(～'39) ・古川用水用水改良事業着工(～'46)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
				・早川沿岸排水改良事業着工(～'42)
	1940(昭和15年)	・米穀管理規則により統制		・飛鳥排水改良事業着工(～'40)
	1941(昭和16年)	・農地開発法公布、農地開発営団設立 ・太平洋戦争開始		・幸田用水大井池用水改良事業着工(～'43) ・入鹿用水用水改良事業着工(～'46) ・鹿乗川沿岸中流排水改良事業着工部(～'44) ・早川整備排水改良事業着工(～'41) ・一色悪水排水改良事業着工(～'46) ・大助川沿岸排水改良事業着工(～'41)
	1942(昭和17年)	・食糧管理法公布(供出配給強化)		・国営明治用水農業水利事業着工(～'57)※ ・国営尾張用水農業水利事業着工(～'58)※ ・前期枝下用水下流部用水改良事業着工(～'44) ・北野用水用水改良事業着工(～'44) ・鹿乗川沿岸上流部排水改良事業着工(～'46) ・大助川沿岸上流部排水改良事業着工(～'41)
	1943(昭和18年)			・枝下用水後期上流部用水改良事業着工(～'46) ・一宮井筋上流部用水改良事業着工(～'45) ・大助川沿岸最上流部排水改良事業着工(～'45) ・江川沿岸排水改良事業着工(～'46)
	1944(昭和19年)		・12.7 東南海地震	・枝下用水後期中流部用水改良事業着工(～'46) ・古川用水西部下流部用水改良事業着工(～'45) ・一宮井筋中流部用水改良事業着工(～'45) ・上ノ島井筋用水改良事業着工(～'45)
	1945(昭和20年)	・広島、長崎に原爆投下 ・ポツダム宣言受諾、終戦 ・緊急開拓事業実施要領制定	・1.13 三河地震 ・名古屋空襲、各地に空襲続く	・国営伊良湖開拓建設事業着工(～'55)※ ・国営豊橋農地開発事業着工(～'61)※ ・江川沿岸中流部排水改良事業着工(～'49) ・枝下用水用水改良事業着工(～'59)
	1946(昭和21年)	・農地改革 ・自作農創設特別措置法制定 ・農地調整法改正		・国営碧南干拓建設事業着工(～'56)※ ・国営鍋田干拓建設事業着工(～'63)※ ・上ノ島井筋上流部用水改良事業着工(～'48)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
昭和時代		<ul style="list-style-type: none"> ・地方農地事務局設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・明治用水整備用水改良事業着工(～'48) ・大塚井筋用水用水改良事業着工(～'50) ・一宮井筋下流部用水改良事業着工(～'50) ・萱津用水用水改良事業着工(～'53) ・明治用水下流部用水改良事業着工 ・五八悪水排水改良事業着工(～'48) ・須ヶ谷川沿岸排水改良事業着工(～'48) ・一色東部排水改良事業着工(～'48) ・光堂川用悪水用排水改良事業着工(～'52) ・荒子川沿岸用排水改良事業着工(～'57) ・平坂干拓事業着工(～'52)
	1947(昭和22年)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法施行 ・農業協同組合法公布 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地改革、第1回農地接收 	<ul style="list-style-type: none"> ・国営衣浦干拓建設事業着工(～'62)※
	1948(昭和23年)	<ul style="list-style-type: none"> ・建設省設置 		<ul style="list-style-type: none"> ・犬山用水用水改良事業着工(～'50) ・将監用水用水改良事業着工(～'55) ・上倉用悪水用排水改良事業着工(～'50)
	1949(昭和24年)	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良法公布 ・ドッジ勧告による均衡予算実施 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営豊川用水農業水利事業着工(～'67、61年に水資源機構に承継)※ ・鴛蔵用悪水用排水改良事業着工(～'53)
	1950(昭和25年)	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮戦争勃発 ・国土総合開発法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・諏訪用水用水改良事業着工(～'52) ・岩津用水用水改良事業着工(～'55) ・境川河口干拓事業着工(～'57)
	1951(昭和26年)	<ul style="list-style-type: none"> ・積雪寒冷地単作地帯振興臨時措置法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・牟呂松原用水用水改良事業着工 ・鶺戸川排水排水改良事業着工(～'52) ・吉田排水排水改良事業着工(～'54)
	1952(昭和27年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農地法公布 		<ul style="list-style-type: none"> ・国営矢作川農業水利事業着工(～'62)※ ・山西排水用水改良事業着工(～'57) ・領内川沿岸排水排水改良事業着工(～'52) ・豊橋西部排水排水改良事業着工(～'56)

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
				<ul style="list-style-type: none"> ・千間堀用悪水用排水改良事業着工(～'58) ・牧川森上井筋用水用排水改良事業着工(～'63) ・幡豆干拓事業着工(～'58)
	1953(昭和28年)	・北九州及び和歌山県に大水害		・新古大江用水用排水改良事業着工(～'61)
	1954(昭和29年)			・筏川用水用排水改良事業着工(～'64)
	1955(昭和30年)	・愛知用水公団、農地開発機械公団設立		<ul style="list-style-type: none"> ・水資源機構 愛知用水事業着工(～'61)※ ・日光西排水排水改良事業着工
	1956(昭和31年)			・秋竹用水用水改良事業着工(～'67)
	1957(昭和32年)	・八郎潟干拓事業開始		<ul style="list-style-type: none"> ・国営濃尾用水農業水利事業着工(～'68)※ ・安永川沿岸排水排水改良事業着工(～'64)
	1958(昭和33年)			<ul style="list-style-type: none"> ・宇連ダム完成※ ・三好池完成※
	1959(昭和34年)	・伊勢湾台風	・伊勢湾台風で死者3200人以上	<ul style="list-style-type: none"> ・上郷排水排水改良事業着工 ・伊勢湾高潮対策事業着工(～'63)
	1960(昭和35年)	<ul style="list-style-type: none"> ・所得倍増計画 ・食糧増産対策事業から農業基盤整備事業に名称変え 		・吉良古川用水用水改良事業着工(～'65)
	1961(昭和36年)	<ul style="list-style-type: none"> ・農業基本法制定 ・水資源開発公団法公布(設立は'62) ・耕地面積、田3,414,000ha、畑2,719,000ha、計6,136,000ha 	・愛知用水竣工	<ul style="list-style-type: none"> ・大野頭首工完成※ ・東郷調整池完成※
	1962(昭和37年)			<ul style="list-style-type: none"> ・佐屋川東部用水用水改良事業着工 ・羽布ダム完成※
	1963(昭和38年)	・団体営圃場整備事業の創設		<ul style="list-style-type: none"> ・国営矢作川第二農業水利事業着工(～'78)※ ・濃尾畑かん用水改良事業着工
	1964(昭和39年)	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック ・八郎潟大潟村誕生 ・改正河川法公布 	・東海道新幹線開業	<ul style="list-style-type: none"> ・矢作川用水用水改良事業着工 ・枝下用水用水改良事業着工 ・小中山干拓事業着工(～'67) ・水資源機構 木曾川総合用水事業
	1965(昭和40年)		・木曾川水系を水資源開発水系に指定	・合瀬川用水用水改良事業着工
	1966(昭和41年)	・土地改良長期計画(1次)		・国営木曾岬干拓建設事業着工(～'00)※

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
				・木曾川総合用水事業着工(～'82)※ ・飛島排水改良事業着工 ・大助川用排水改良事業着工
	1967(昭和42年)	・公害対策基本法公布		・岩倉用水改良事業着工
	1968(昭和43年)			・駒場池完成※
	1969(昭和44年)	・米の生産制限始まる(開田抑制措置) ・農業振興地域の整備に関する法律公布 ・農道舗装事業の創設	・東名高速道路全通 ・矢作川沿岸水質保全対策協議会設立	・国営濃尾用水第二期農業水利事業着工(～'87)※ ・初立池完成※
	1970(昭和45年)			・国営矢作川総合農業水利事業着工(～'88)※
	1971(昭和46年)	・政府米の買入制限導入 ・沖縄返還 ・環境庁発足		
	1972(昭和47年)	・土地改良法改正 ・農村基盤総合整備パイロット事業の創設	・西三河・東濃に集中豪雨で土砂災害	
	1973(昭和48年)	・第一次石油ショック ・土地改良長期計画(2次)		
	1974(昭和49年)	・国土利用長期計画法公布 ・国土庁発足		・国営濃尾用水施設整備事業(～'79)※
	1975(昭和50年)		・愛知県地盤沈下対策会議設置	
	1976(昭和51年)	・土地改良法改正		・国営南知多農地開発事業着工(～'94)※
	1977(昭和52年)			・水資源機構 豊川総合用水事業(～'01)※
	1978(昭和53年)	・農林省、農林水産省に省名変更		・国営明治用水施設整備事業(～'83)※
	1979(昭和54年)	・第二次石油ショック ・国営農地防災排水事業の創設		
	1980(昭和55年)			・国営豊川総合用水農業水利事業着工(～'01、水資源機構に承継)※
	1981(昭和56年)	・食糧管理法の改正		・水資源機構 愛知用水第二期事業着工(～'06)※
	1982(昭和57年)			
	1983(昭和58年)	・土地改良長期計画(3次) ・日本海中部地震		

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	1984(昭和59年)	・農業振興地域の整備に関する法律と土地改良法の改正 ・118品目の関税引き下げなど対外経済対策を決定		
	1985(昭和60年)			・国営尾張西部農業水利事業着工(～'96)※
	1986(昭和61年)	・21世紀へ向けての農政の基本方向		・国営矢作川施設整備事業着工(～'92)※
	1987(昭和62年)	・水田農業確立対策決定		
	1988(昭和63年)	・日米牛肉オレンジ問題、GATTでの紛争解決へ ・青函トンネル、瀬戸大橋開通	・長良川河口堰起工	
平成時代	1989(平成元年)			・水資源機構 豊川用水緊急改築事業着工(～'98)※
	1990(平成2年)			・前山ダム完成※
	1991(平成3年)	・農業農村整備事業と事業名変わる		
	1992(平成4年)			
	1993(平成5年)	・環境基本法案決定 ・北日本中心に大冷害、作況指数74、冷害対策として米の緊急輸入		・大原調整池完成※ ・万場調整池完成※
	1994(平成6年)	・ウルグアイ・ラウンド農業合意関連対策大綱を決定	・県内各地で大渇水	・新矢作用水農業水利事業着工(～'11)※
	1995(平成7年)	・阪神・淡路大震災		
	1996(平成8年)			・蒲郡調整池完成※ ・水資源機構 木曾川用水施設緊急改築事業(～'01)※
	1997(平成9年)	・環境影響評価法(環境アセス法)公布		
	1998(平成10年)	・中央省庁等改革基本法成立		・国営新濃尾農地防災事業着工※
	1999(平成11年)	・食料・農業・農村基本法成立		・水資源機構 豊川用水二期事業着工※
	2000(平成12年)	・食料・農業・農村基本計画閣議決定	・東海集中豪雨、県北東部を中心に、記録的な豪雨	
	2001(平成13年)			・大島ダム完成※
	2002(平成14年)			
	2003(平成15年)			
	2004(平成16年)	・中越地震		
	2005(平成17年)			
		・耕地面積、2,556,000ha、畑2,136,000ha、計4,692,000ha		・田47,400ha、畑36,500ha、計83,900ha

時代	西暦(和暦)	全国の歴史	愛知県の歴史	愛知県の水土整備の歴史
	2006(平成18年)			
	2007(平成19年)	・中越沖地震		
	2008(平成20年)	・岩手・宮城内陸地震		
	2009(平成21年)			
	2010(平成22年)			
	2011(平成23年)	・東日本大震災 3.11 東北地方太平洋沖地震(死者・不明者18,617人(H24.11.14警察庁)、津波による農地の流失・冠水等被害推定面積23,600ha(H23.3.29農林水産省))		
	2012(平成24年)			
	2013(平成25年)			

<参考文献>

- *1 「疏水百選」(2006年)(全国土地改良事業団体連合会)
- *2 「日本水利施設進展の研究」(1958年)(牧 隆泰著、土木雑誌社)
- *3 「明治前日本土木史」(1956年)(日本学術振興会、日本学士院日本科学史刊行会)
- *4 「農業土木史」(1979年)((社)農業土木学会)
- *5 「明治以前日本土木史」(1936年)(土木学会編、岩波書店)
- ※ 「各地方農政局ホームページ」等より抜粋

なお、「水土整備の歴史」欄で無印の事業等は「あいちの土地改良」(1970)より抜粋

また、愛知県の歴史は「愛知県の歴史」(2001年)(山川出版社)より抜粋